学校番号	３１８

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	東京書籍　公共						
副教材等	浜島書店　最新図説公共						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業を通じてニュース・話題の本質を読み取れるようにする。
・さまざまな社会の仕組みを理解し、社会で起こっている出来事に興味関心を持つ。
・現在の世界や日本の出来事について自分の考えや主張を持つ。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を選択・判断するための手がかりとなる知識、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
・社会の諸課題解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や基本的原理を活用し、事実をもとに多面的・多角的に考察して公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚や、国民主権をになう公民として、その平和と繁栄をはかることや、各国民が協力しあうことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代社会の基本的問題と人間に関わることがらに関する様々な資料をメディアを通じて収集できる力を身につける。 ・有用な情報を適切に選択し、効果的に活用して学び方を身につける。また、「ファクトチェック」ができる能力を養う。 ・現代社会の基本的問題と人間としての在り方、生き方とに関わる基本的な知識、問題解決に対する多様な意見を理解する力をつける。	・現代社会の基本的な問題と人間に関わることがらから課題を見出し、事象の本質を考える。 ・人間としてのあり方、生き方に対して多面的、多角的に考察して、社会の変化やさまざまな立場を判断する。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、みずからの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	公共の扉	青年期を生きる私たち ①青年期における自己形成 ②キャリア開発と社会参画	a：青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて理解している。 b： 青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c： 青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート
		他者とともに生きる人間としてのあり方 ①個人として尊重しあう人間 ②公共的な空間をつくる人間 ③伝統・文化のなかで生きる人間	a：人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S.ミルなどの考え方を手がかりに理解している。 b・人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S.ミルなどの考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：間存在を、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S.ミルなどのなどの考え方を手がかりに、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

		公共的な空間における倫理 ①功利主義と幸福の原理 ②義務論と公正の原理 ③活用してみよう生命倫理について考える ④活用してみよう環境倫理について考える	a：現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 b： 現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c： 現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理などについて、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート
		公共的な空間における基本的原理 ①公共的な空間における協働 ②民主主義の原理 ③立憲主義の原理 ④人権保障の原理 ⑤日本国憲法の理念	a：公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念などについて理解している。 b：公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

2学期		民主政治と私たち ①私たちの民主政治 ②地方自治のしくみと役割 ③国会のしくみと役割 ④内閣のしくみと役割 ⑤政治参加と選挙 ⑦政党と利益集団 ⑧メディアと世論	a：政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から理解している b：公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート
	自立した主体として社会に参加する私たち	民主政治と私たち ①私たちの民主政治 ②地方自治のしくみと役割 ③国会のしくみと役割 ④内閣のしくみと役割 ⑤政治参加と選挙 ⑥政党と利益集団 ⑦メディアと世論	a： 政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から理解している b： 政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。 c： 政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

		法の働きと私たち ①法と社会規範の役割 ②法の成立と適用 ③私法の原則 ④多様な契約 ⑤消費者の権利と責任 ⑦司法のしくみと役割 ⑧刑事司法と司法参加の意義	a： 法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて理解している。 b： 法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c： 法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート
		経済社会で生きる私たち ①私たちと経済 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと働き ⑥中央銀行の役割と金融環境の変化 ⑦財政の働き ⑧財政の課題 ⑨社会保障の考え方 ⑩社会保障の課題とこれから	a：経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 b：経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

3学期		私たちの職業生活 ①働くということ ②多様な職業選択 ③労働者の権利 ④現代の雇用・労働問題	a：働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて理解している。 b：働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

3学期		国際社会のなかで生きる私たち ①国際社会の成り立ち ②国際連合の役割 ③日本の平和主義と冷戦 ④冷戦後の世界と日本 ⑤現代の紛争とその影響 ⑥平和な国際 社会に向けて ⑦	a： 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて理解している。 b：国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c： 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて、主体的に追究している。	定期考査 課題テスト	定期考査 課題テスト	グループ討議 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度